失語症全国大会inおおいた

第33回 日本失語症協議会　第8回 失語症デイ振興会

今日も元気か笑顔はあるか

～失語症のある人もない人も心豊かに暮らせる街をつくろう～

日 時：平成31年 3月 16日（土） 9時30分～16時30分

会 場：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza レセプションホール

内 容：シンポジウムⅠ　「失語症者向け意思疎通支援者養成事業の各地の現状と今後」

シンポジウムⅡ　「失語症者の集いの歴史と未来に向けて」

失語症サミット九州版　「九州失語症友の会大集合」

講演　「今日も元気か、笑顔はあるか（仮）」

（大田 仁史氏：医師 茨城県立健康プラザ管理者 / 茨城県立医療大学付属病院名誉院長）

失語症のある人たちの合唱・演奏など

大会マスコット
「猫蔵（ねこぞう）」

主催：失語症全国大会インおおいた実行委員会

共催：NPO法人日本失語症協議会　NPO法人失語症デイ振興会
NPO法人ゆずりはコミュニケーションズ　大分県言語障がい友の会「なし会」
公益社団法人大分県言語聴覚士協会

問い合せ

失語症全国大会インおおいた実行委員会
【事務局】コミュニケーション・デイサービス言の葉　担当：中村
Tel：097-509-1320　Fax：097-509-1320　Mail：kotonoha@habisapo.jp

平成30年10月吉日

失語症全国大会インおおいた開催
趣意書

脳卒中や、脳外傷での後遺症で失語症となった人たちは、全国で52万人位いると推定されており、医療機関でのリハビリテーションを終了しても多くの方々は障害を抱えたまま生活を続け、また、社会に戻らねばなりません。近年、障害者を取り巻く環境が整えば、障害をもつ人たちも、健常者と同じように、社会で当たり前の生活ができ、社会参加ができるというバリアフリーの環境が整備されてきました。同じように、言語に障害のある方が社会に出るためには、言葉のバリアフリーが必要です。失語症の場合は、設備の充足だけではなく、周囲の理解と協力が不可欠です。しかしながら、失語症は、目に見えない障害であることもあり、一般社会の認識が非常に低く、どのような障害かあまり知られていないのが現状です。一方、介護保険施設等には、多くの失語症者が通所、入所していても、適切な障害への対応がなされていない場合が多くあります。

現在、失語症のある人と同様、その家族も相談機関等が無いことで大きな不安を抱えて生活しています。家族は、失語症のためコミュニケーションがとれないストレスにとどまらず、家庭や社会での役割を担うことの負担感、また、充分表現できないでいる失語症の本人の気持ちや悩みを家族でありながら十分に理解できない無力感等々を感じておられます。さらに、介護者自身が急病になったとき、本人が適切に対応できるかということも心配しておられます。

失語症のある人やその家族が、少しでも生きやすい、住みやすい社会となるよう、当事者家族だけでなく、支援者である言語聴覚士、会話パートナーをはじめ、地域の方々、行政職の方々も交えて、失語症のある人のいろいろな悩みを共有し、その解決策を皆で話し合う機会が必要と思われます。失語症のある人及びその関係者が、明日への希望をつなげていくべく、全国大会を開催いたします。

記

1. 事業名称：失語症全国大会インおおいた
   〈第33回日本失語症協議会　第8回失語症デイ振興会〉
2. 開催期日：平成31年3月16日（土）9時30分～16時30分
3. 開催場所：別府国際コンベンションセンター B-Con Plaza レセプションホール
4. 共　　催：NPO法人日本失語症協議会
   NPO法人失語症デイ振興会
   NPO法人ゆずりはコミュニケーションズ
   大分県言語障がい友の会「なし会」
   公益社団法人大分県言語聴覚士協会
5. 参加人数：500名

失語症全国大会インおおいた実行委員会
大　会　長　得重　秀教
実行委員長　中村　太一

各　位

失語症全国大会インおおいた～第33回日本失語症協議会　第8回失語症デイ振興会～

大　会　長　得重　秀教

実行委員長　中村　太一

失語症全国大会インおおいたへの協賛および広告掲載のお願い

時下、ますますご清祥のことと存じます。日頃は失語症者への理解ならび支援を賜り感謝いたしております。

この度、大分県言語障がい友の会「なし会」では失語症全国大会インおおいたの開催主催団体となり、実行委員会を立ち上げました。この全国大会は失語症の当事者、家族、支援者及び一般市民が一同に会し、失語症の理解を図り、また交流を深めるために開催いたしております。失語症は主に脳卒中や脳外傷の後遺症として生じ、症状は一人ひとり異なりますが言葉を失い社会との絆を絶たれた失語症者の苦悩や生活上の困難は筆舌に尽くしにくいものがあります。しかし目に見えない障害であるため社会的な認知がなかなか進んでおりません。

今回、「今日も元気か、笑顔はあるか～失語症のある人もない人も心豊かに暮らせる街をつくろう～」というテーマのもとに全国大会を大分で開催することにより、当事者、家族、支援者の相互理解を更に深め、一般市民への啓発を図りたいと考えております。

しかしながら、全国大会は毎年、参加費収入に主たる財源として運営を行っており、後は地元の友の会の拠出金、助成金等で賄っておりますが、大分県言語障がい友の会「なし会」は失語症当事者の任意団体であり、活動資金も乏しく、全国大会への拠出金もほとんどない状態です。

つきましては全国大会開催にあたりまして、協賛金のご協力ならびに広告掲載による広告料のご協力を賜りたく存じます。なお内容については下記にご案内いたしておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

記

1．協賛金　個　人・・・・・志で結構でございます
　　団体・企業・・・1口　10,000円（何口でも結構です）
　　できれば2口以上を希望しております

2．広告料　A4サイズ1ページ（縦）　20,000円
　　A4サイズ1/2ページ（横）　10,000円
　　A4サイズ1/4ページ(横)　5,000円
　　（広告の原稿はご準備願います）

2．領収書を発行いたします。またプログラム集等にご芳名を掲載いたします。

3．趣意書は別紙ご参照ください。

4．協賛金、広告料振込先
　【金融機関名】ゆうちょ銀行　【店名】七二八（読み　ナナニハチ）
　【店番】728　【預金種目】普通預金　【口座番号】2555338
　【口座名義】失語症全国大会インおおいた実行委員会
　（シツゴショウゼンコクタイカイインオオイタジッコウイインカイ）

5．問い合わせ先（開催事務局）
〒870-1176 大分県大分市富士見が丘東2丁目23-13　ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ﾃﾞｨｻｰﾋﾞｽ言の葉（担当 中村）
Tel 097-509-1320　Fax 097-509-1320　Mail：kotonoha@habisapo.jp

FAX：097-509-1320

失語症全国大会インおおいた　開催事務局

申し込み締め切り日：平成30年12月末日

【プログラム広告協賛申込書】

申し込み内容	①A4サイズ1ページ（縦）　②A4サイズ1/2ページ（横）　③A4サイズ1/4ページ（横） ＊いずれかに丸を付けてください。
法人	
ご住所	〒
所属部署	
ご担当者名	
TEL	
FAX	
E-mail	
版下原稿返却	要　・　不要

ご記入いただきました個人情報の内容につきましては、本会の連絡ならびに各種学会の御案内以外には使用いたしません。

FAX：097-509-1320

失語症全国大会インおおいた　事務局

申し込み締め切り日：平成30年12月末日

【協賛金申込書】

失語症全国大会インおおいたの趣旨に賛同し、
下記金額を協賛金として申し込みます。

金　　円也

御芳名又は法人名 （領収書宛名）	
ご住所	〒
ご担当者名	
TEL	
FAX	
E-mail	
振込予定日	平成　　年　　月　　日予定

ご記入いただきました個人情報の内容につきましては、本会の連絡ならびに各種学会の御案内以外には使用いたしません。